

算数科学習指導案

単元名「合同な図形」〔学指要領：B（1）〕

令和5年9月11日（月） 第4校時 5年生教室

【授業改善の視点】

合同な図形のかき方を考える場面において、ロイロノートを用いて図形のかき方を説明したり検討したりすることは、図形の構成要素に着目し合同な三角形の作図方法を見いだすことに有効であろう。

本時の学習（4／7）

1 ねらい 合同な図形のかき方を考える活動を通して、図形の構成要素を理解することができるようにする。

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（6分）</p> <p>問題：合同な三角形をかこう。</p> <p><めあて> 合同な三角形を簡単な方法でかくための条件は何だろうか。</p> <p>S：前時までの学習を使って書けるかな。</p>		<p>○合同な図形の特徴等を確認し、本時の学習にスムーズに入れるようにする。 【★提示・配布】</p> <p>○本時は、より簡単な方法で合同な三角形のかくことを中心に考えるので、辺の長さや角の大きさは提示しないで必要に応じて使うよう促す。</p>
<p>2 個別に合同な三角形のかき方を追求する。（10分） 【★検索・収集】</p> <p>「どこの辺の長さや角の大きさが分かれば、合同な三角形がかけられるのでしょうか。」</p> <p>S：辺の長さから測ってかいてみようかな。</p> <p>S：コンパスを使って長さをとってみよう。</p>		<p>○合同な三角形をかくのすべての辺の長さや角の大きさを測る必要があるのか、問いかける。</p> <p>○合同な三角形のかき方を説明できるように、かく順番や着目した図形の構成要素を明確にするよう促す。</p>
<p>3 集団で合同な三角形のかき方を比較し合い、より簡単な方法でのかき方を検討する。（24分） 【★共同編集】</p> <p>S：3つの辺の長さを使ってみたよ。</p> <p>S：もっと簡単にかける方法はないかな。</p> <p>4 合同な三角形のかき方で似ているものをまとめ、その特徴を見つける。</p> <p>S：かき方の特徴はあるかな。</p> <p>S：合同な三角形のかき方にはどんな条件があるのだろう。</p>		<p>○多様な合同な三角形のかき方に気づき、自他の違いを意識できるように、かく順序や着目した図形の構成要素の違いを問いかける。</p> <p>○着目した図形の構成要素をもとに、合同な三角形のかく順番を説明するよう促す。</p> <p>○合同な三角形のかき方で似ているものをまとめ、かき方の特徴をつかめるようにする。</p> <p>【★一覧表示】</p> <p>◆評価項目（思）</p> <p>ワークシートの作図や説明する姿から、「合同な三角形のかき方について考え、表現しているか」を評価する。</p>
<p>5 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。（5分） 【★データの保存・提出】</p> <p><まとめ> 辺の長さや角の大きさを3つ使えば、合同な三角形をかくことができる。</p> <p><振り返り> S：3つの辺の長さを使ってかくことができた。</p> <p>S：2つの辺の長さとその間にある角の大きさを使って、三角形をかくことができた。</p>		<p>○めあてを再度確認し、児童自身でまとめられるようにする。</p> <p>【★一覧表示】</p>